

第19回図書館総合展

70周年からその先へ ～ユニバーサル・アクセスを目指して～ 国立国会図書館の取組

イントロダクション

国立国会図書館総務部企画課

課長 伊藤 克尚

平成29年11月7日(火)

**平成30年（2018年）
国立国会図書館は
設立70周年を迎えます**

昭和23年（1948年）2月9日

国立国会図書館法公布

国立国会図書館の使命

国立国会図書館法 前文

国立国会図書館は、真理がわれらを自由にするという確信に立つて、憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与することを使命として、ここに設立される。

東京本館



関西館



国際子ども図書館



国立国会図書館中期ビジョン

「ユニバーサル・アクセス2020」

平成28年12月9日策定

2020年までの4年間を、
設立100年までを見通した長期的展望のスタート地点として位置づけ
国立国会図書館法前文に掲げられた使命を今後も果たしていくための
新たな中期ビジョン

「ユニバーサル・アクセス2020」

国立国会図書館の
基本的役割とは

国会活動の補佐

資料・情報の収集・保存

情報資源の利用提供

「ユニバーサル・アクセス2020」概要

【使命】 国立国会図書館法前文

国立国会図書館中期ビジョン ユニバーサル・アクセス 2020

【基本的役割】

国会活動の
補佐

資料・情報の
収集・保存

情報資源の
利用提供

行動指針
四つの視点・

- 1 利用環境 アクセスのしやすさを追求する
- 2 組織力 個々の職員的能力をいかす
- 3 連携 情報基盤の拡大・深化に寄与する
- 4 情報発信 国立国会図書館の基本的役割の理解を得る

国立国会図書館 活動目標 2017-2020

活動目標 1

活動目標 2

活動目標 3

「ユニバーサル・アクセス」とは

ユニバーサル

国立国会図書館が有する様々な形態の資料・情報が
＜時間的に＞ 過去から未来へ
＜空間的に＞ 図書館の物理的場所を
超えて広く行き渡ること

「ユニバーサル・アクセス」とは

アクセス

利用者が、国立国会図書館の所蔵資料・情報に容易に到達できること。
使いやすしい施設であること

本日御紹介する
国立国会図書館の三つの取組

典拠データの拡充に向けて

国立国会図書館では、検索を支援するデータの整備により利用者が迅速、的確かつ容易にアクセスできるように、正確で信頼性のある典拠データを作成、維持管理しています。

時代の変化に対応した典拠データ拡充への取組を御紹介します。

NDL-OPACから 国立国会図書館オンラインへ

平成30年（2018年）1月に、新たな利用の窓口となるサービスが始まります。

国立国会図書館が提供する情報資源に、利用者がより便利に効率よくアクセスできる国立国会図書館オンラインの概要を御紹介します。

次世代システム開発研究室の活動

伝統的な図書館も変革を迫られています。

既存のアナログ資料をどのようにインターネットを通じて提供するか、電子的な資料をどう整理して、どのように人々がアクセスできるようにするかといった課題への対応が求められています。

外部研究機関との連携協力による、先進情報技術を応用した新しい図書館サービスを実現するための次世代システムに係る調査研究・実証実験の取組について御紹介します。

国立国会図書館の取組に
御期待ください。